

いちかわ

坂と史跡の散歩道

～国分・稲越界隈発見マップ～

発行：市川市 文化振興課 平成24年10月改訂

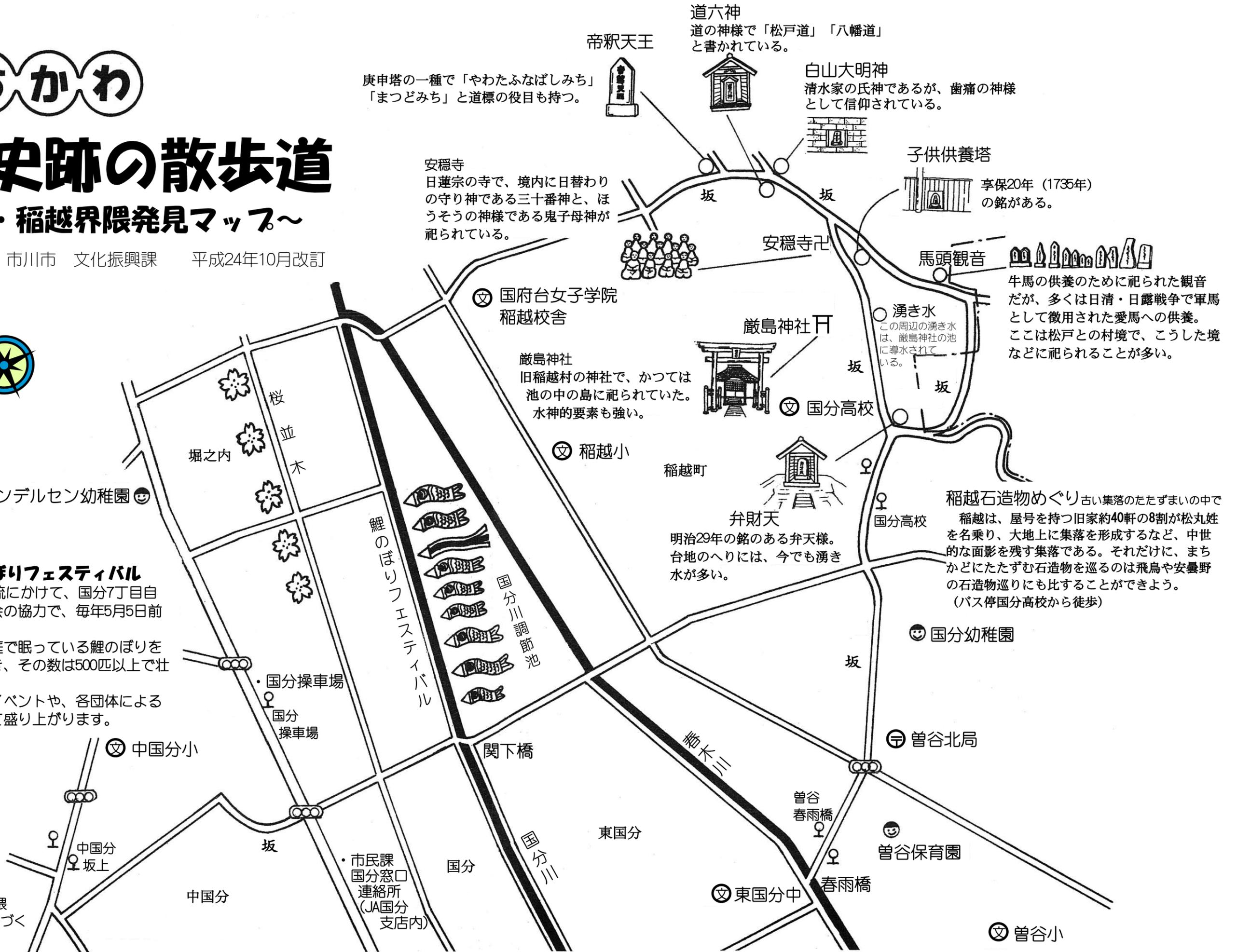


国分川鯉のぼりフェスティバル

関下橋から上流にかけて、国分7丁目自治会と稲越自治会の協力で、毎年5月5日前後に開かれます。

地域内の各家庭で眠っている鯉のぼりを提供していただき、その数は500匹以上で壮観です。

ステージでのイベントや、各団体による模擬店が出店して盛り上がります。



庚申塔の一種で「やわたふなばしみち」「まつどみち」と道標の役目も持つ。

帝釈天王



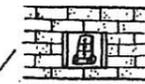
道六神

道の神様で「松戸道」「八幡道」と書かれている。



白山大明神

清水家の氏神であるが、歯痛の神様として信仰されている。



子供供養塔



享保20年(1735年)の銘がある。

安穏寺
日蓮宗の寺で、境内に日替わりの守り神である三十番神と、ほうそうの神様である鬼子母神が祀られている。



安穏寺

馬頭観音



牛馬の供養のために祀られた観音だが、多くは日清・日露戦争で軍馬として徴用された愛馬への供養。ここは松戸との村境で、こうした境などに祀られることが多い。

国府台女子学院 稲越校舎

巖島神社
旧稲越村の神社で、かつては池の中の島に祀られていた。水神的要素も強い。



巖島神社

国分高校

湧き水
この周辺の湧き水は、巖島神社の池に導水されている。

稲越小

稲越町



弁財天

明治29年の銘のある弁天様。台地のへりには、今でも湧き水が多い。

稲越石造物めぐり 古い集落のたたずまいの中で稲越は、屋号を持つ旧家約40軒の8割が松丸姓を名乗り、大地上に集落を形成するなど、中世的な面影を残す集落である。それだけに、まちかどにたたく石造物を巡るのは飛鳥や安曇野の石造物巡りにも比することができよう。(バス停国分高校から徒歩)

国分幼稚園

曾谷北局

中国分小

中国分 坂上

中国分

市民課 国分窓口 連絡所 (JA国分 支店内)

国分

国分川

東国分

東国分中

曾谷 春雨橋

曾谷 保育園

曾谷小

←『雑木林の散歩道 (国府台～堀之内界隈 発見マップ)』へつづく